

熊本市中体研

理事長 船津 一真

1 はじめに

熊本市中学校体育研究会では、令和2年度から取り組んできた研究テーマ『自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健・体育学習の在り方』について、前年度の反省をもとに熊本市中学校授業研究会に向けて授業改善を行ってきた。

2 熊本市中学校体育研究会主題

自ら運動の喜びや楽しさを求め
生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健・体育学習の在り方
～主体的・対話的で深い学びを図る指導の工夫～

3 研究の概要

(1) 研究の仮説

- ① 教材の開発や場面設定の工夫, ICT の効果的な活用を行えば, 対話活動が活性化し, 生徒が運動の楽しさを味わいながら進んで運動に親しむことができるだろう。
- ② 生徒の主体的活動をねらった課題提示や取組の工夫を行えば, 生徒同士で学びを深めながら主体的に課題解決をし, できる・わかる喜びを味わうことができるだろう。

(2) 研究の視点

- 視点1 指導と評価の一体化
- 視点2 効果的なICT機器の活用
- 視点3 主体的活動を重視した取組
- 視点4 対話活動を促すための場面設定の工夫

熊本市授業づくり5つの視点

- 視点1 本時のねらいに迫るめあてがある
- 視点2 授業に見通しと振り返りがある
- 視点3 本時のねらいに迫る子どもの主体的活動がある
- 視点4 学習意欲を高め, 学習内容を理解させる工夫がある
- 視点5 子どもを認め, 生かす場面がある

4 研究構想図



5 研究の実際

研究の視点をもとに、熊本市中学校授業研究会（10月開催）では4ブロックに分けて事前研究会及び授業研究会で研究を行った。保健分野と体育分野に分かれ、保健分野では養護教諭とのTTを行い、より専門的な知識を学べるようにした。

【北ブロック】

楠中学校 保健2年「応急手当の意義と方法」
伊豆丸 剛教諭 丸野佐栄子養護教諭



【南ブロック】

飽田中学校 球技1年「バレーボール」
藤本真季教諭



【東ブロック】

白川中学校 球技1年「ハンドボール」
松本悠汰教諭



【西ブロック】

京陵中学校
保健1年「呼吸器・循環器の発育・発達」
宮村直幸教諭 西島達子養護助教諭



6 研究の成果と課題

今回の実践を通して、保健体育における主体的・対話的で深い学びを意識した授業を経験できたことは、大きな学びとなった。子ども達に主体性をもたせた授業を展開するための指導の工夫や発達段階に応じた配慮をしていくことで、子ども達が自ら課題を見つけて活動する姿も多く見られた。また、子ども達に視覚的に分かりやすいようにICT機器の活用をしたり、子ども達同士でもICTを活用しながら動きの確認や作戦会議などをしたりすることで、効果的なICTの活用力も高まった。ただ、子ども達一人ひとりの課題に対して、常に意識をもたせるための工夫がないと、視点がぼやけてしまうこともあった。今後は、話し合いの視点を明確にするための視覚的配慮を考えていきたい。また評価について悩まれている先生がいたことも分かった。指導すべき内容とその評価の確認をしながら、「何ができるようになるか」という目指す資質・能力と「何が身についたか」という学習評価にずれやねじれが生じないように今後も研究を進めていきたい。